

■ゾウの導入について

1. 円山動物園の歴史とゾウ

戦後の荒廃がまだ市民の心に残っていた 1950 年（昭和 25 年）、札幌市は上野動物園（東京）から移動動物園を招きました。会場の円山坂下グラウンド、そして円山公園一帯は空前の人手で賑わい、人々は動物達に夢中になりました。

この移動動物園の大成功を受けて、「札幌市に動物園を」という声が急速に高まり、1951 年（昭和 26 年）のこどもの日に北海道では初めて、全国では 10 番目の動物園として開園しました。

「花子」は、1953 年（昭和 28 年）7 月に「世界動物博覧会」の会場であった長野県から開園まもない円山動物園にやってきました。当時の推定年齢は 7 歳でした。

市民の大歓迎を受け、12,000 通の応募の中から「花子」と命名され、たちまち人気者になりました。1961 年（昭和 36 年）には 3 歳の「リリー」も来園し、以来、いつも一緒に過ごす仲の良さでした。1997 年（平成 9 年）7 月に「リリー」が亡くなり、一時、元気を失った「花子」でしたが、やがて回復し、健やかに年齢を重ね、2006 年（平成 18 年）7 月には国内でも 2 番目の長寿ゾウとして市民から還暦のお祝いも行われました。しかしながら、2007 年 1 月 28 日に「花子」は推定 60 歳という長寿を全うし天国に旅立ちました。「花子」は常に円山動物園のスターとして君臨し続け、数々の逸話をつくりました。

2. 市民議論が必要な理由

ゾウは世界的にも希少動物で単に展示する目的で導入することは不可能です。ワシントン条約に基づき繁殖や野生生物の保護を目的とした導入でなければなりません。ゾウは本来群れで生活する動物で、例えば子どもが生まれた場合にも群れで育てる習性を持っています。子ゾウの育児に複数のメスゾウが協力し合います。

導入するとしてもオス 1 頭にメスを複数頭の群れで飼育する必要があります。このため頭数に見合った広い動物舎と屋外放飼場が必要になります。現在のゾウ舎では、環境省の飼育許可は不可能です。

また、国内の動物園での飼育頭数が少ないことと余剰がないことから国内で入手することは困難で、必然的に海外から輸入することになります。このようなことから、新たにゾウを導入するにはゾウを輸出する国との話し合い、ゾウ舎建設及びゾウ購入費用の調達に時間がかかります。

円山動物園として、将来は是非ゾウを飼育し市民に見て欲しいと考えていますが、実現するためには、大きな負担を前提とした市民の同意が必要です。

3. 国内外の動物園の状況

(1) 野生の状況

ア. アジアゾウ生息数 35,000～50,000 頭（1998 年）

イ. アフリカゾウ生息数 約 660,000 頭（2002 年）

(2) 国外の動物園飼育状況

ア. アジアゾウ

・アメリカ オス 48 頭 メス 237 頭 計 285 頭（2000 年）

・ヨーロッパ オス 49 頭 メス 217 頭 計 266 頭（1999 年）

イ. アフリカゾウ

・国際登録状況 なし

(3) 国内の動物園飼育状況

ア. 飼育状況

- ・アジアゾウ 36園 オス 15頭 メス 51頭 計 66頭 (2008年11月現在)
- ・アフリカゾウ 24園 オス 9頭 メス 41頭 計 50頭 (2008年11月現在)

イ. ゾウの繁殖 (アジアゾウ)

- ・2007.5.3 市原ぞうの国 (メス)、
- ・2007.10.21 神戸市王子動物園 (メス)

ウ. ゾウの死亡 (2008年)

アジアゾウ

- ・王子 (メス・スワコ 65才国内最高齢)、とくしま (オス)、浜松 (メス)

アフリカゾウ

- ・釧路 11.9 メス・ナナ 36才
(旭川 2006.4.21、円山 2007.1.28、1999. 7.8 死亡)

エ. 道内の飼育状況 (アジアゾウのみ)

帯広市動物園 メス 48才

4. ゾウの導入実績

(1) 名古屋市東山動植物園 (現在の飼育頭数オス 1、メス 2)

2007年7月 オス・メス各1頭

インド・デヒワラ動物園から寄贈 (実質 動物交換 クロサイ)

経費 輸送費のみ 約 1000万円 (飛行機輸送)

(2) 沖縄こどもの国 (現在の飼育頭数オス 1、メス 1) ※導入計画から4年を経て実現

2007年12月 オス・メス各1頭

インド・ダーズリン動物園から寄贈 (実質 動物交換 ヒマラヤンタール)

経費 輸送費込み 約 4000万円 (うち地元電力会社寄付 3000万円) (飛行機輸送)

2007年2月 ゾウ舎建設 約 1億 7千万円 ※別紙設計図

建物 462.58 m² パドック 595 m²

その後パドックを増設 639 m² (合計 1234 m²) 約 360万円

(3) 福岡動植物園 (現在の飼育頭数メス 2、今後オスを導入予定) ※別紙パース

20年度 ゾウ舎建設中 (444 m²) 予算 3.2億円

21年度 パドック造成 (約 1000 m²) 予算 4.5億円

(4) 上野動物園 (現在の飼育頭数オス 1、メス 4) ※別紙パンフ

16年4月 ゾウ舎完成 総事業費 13億円

建物 735 m² (延べ 1330 m²) パドック 2170 m²

(5) 天王寺動物園 (現在の飼育頭数メス 2) ※別紙パンフ

15年10月 ゾウ舎完成 総事業費 13億円

建物 584 m² (延べ 707 m²) パドック 3616 m²